



宮城野げんきこたより 5月号

令和6年5月22日発行



乳児の園庭の上からぶら下がっている、色水や手作り風車です。光があたると綺麗に輝いて見えたり風が吹くとクルクル回ったりと環境を工夫し毎日感じる心を育てます。

箱根教育合言葉

～箱根を愛し・かしく・やさしく・たくましく～

5月は、遠足や新しい体験がいっぱい！

3歳児バルーン遊び・4歳児地球博物館へ・5歳児筑紫さんと遊ぼう

5月の天気はコロコロと変化し、3歳児と5歳児の遠足当日は雨や霧がかかり、園で楽しむことになりました。3歳児は、普段なかなかできないパラバルーンや大きなビニール風船で、ダイナミックに風を起こしてその中をくぐって遊んだり、カラフル寒天粘土で感触遊びをしたりして楽しみました。5歳児は、ビジターセンターへ出かけるはずでしたが、ホールで学芸員の筑紫さんが来園してくださり、持参した葉のにおい、感触をじっくり触って自分の気持ちを伝えたり、ロープを使って上を渡るゲームをしたり友達と手をつなぎ輪になりくぐり手は離さずに元に戻れるかのゲームをして楽しみました。4歳児は、箱根の森小学校のスクールバスに乗り、地球博物館へ。日頃、危険生物カルタに興味があったゆり組は地球博物館にあった恐竜をみて大興奮で持参したウオークラリーカードを次々とクリアし、博物館を満喫してきました。

それぞれ年齢の興味や発達に合った内容やこの時期に何を体験してほしいのかを大事に計画して積み重ねていきます。これからも子どもの様子に合わせて園外の保育を計画していきます。準備等のご協力お願いいたします。



ことば・ひらがなに興味を持つはじまり

カルタ遊びが昨年度から続いている4歳児は、毎日のように危険生物カルタをしています。ある日、下駄箱に表示してある友達の名前を読み上げ、

③なを きかせて えものの ちを かぎわける
ハイエナの「は」だね！

これは⑤だ。ききめ きょうれつ！きよだいなどくへび キングコブラ

などとカルタの読み札を暗記していた4歳児はスラスラと言っていました。友達の名前を得意げに読めた瞬間に立ち合えたのです。本人も自分が今まで読めなかったのに読めたことに興奮し、そうか、これが文字なんだ！文字という概念に出会った瞬間でした。

幼児は、興味があると自ら学んでいきます。遊びを通して、環境から、興味関心を引き出すこと、広がることを大事にしています。

毎日がワクワクした瞬間に出会えるように一緒に子ども達と探っていきたいです。



遊びのあしあと

子ども達がこの場を立ち去った後に撮った写真です。ここから子ども達の気持ちが伝わってくるようです。

子どもが何を感じ遊び、ここに置いたのか…想像すると面白いですね。ちなみに左端の井形ブロックは、「とっておくの！かくしているの」と大事そうに置いていました。

